

令和6年度 事後評価シート

【事務事業シート】

1	当初	事 項	「豊かな中予暮らし」体験・交流事業費						予算主管課	地域政策課
	事業概要	就職活動をスタートする前の中予管内の大学生（1、2年生）に対し、県内企業を知る機会を提供するとともに地域の魅力を体感してもらうことにより、県内就職を促進し、若者の県内定着を図る。						始期	2023	
	K P I	参加者の県内への就職活動者数						終期	2025	
	KPI種別	上がるの良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
	実績値	R 4 年 度	目標値	0 人	目標値	35 人	目標値	105 人	目標値	人
	ストック /フロー	人	実績値	1 人	実績値	5 人	実績値	人	実績値	人
	ストック	ストック	達成率	%	達成率	14.3 %	達成率	%	達成率	%
	コスト	最終現計 予算額	最終現計 予算額	8,700 千円	最終現計 予算額	3,912 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円
	コスト	決算額	決算額	3,890 千円	決算額	2,961 千円	決算額	千円	決算額	千円
	6 年 度	要因分析	<p>要因 イベントには昨年度より多くの学生の参加を得られたものの、就職活動前である1・2回生の割合が昨年度の64%から50%に14ポイント低下したことなどから、KPI未達成となった可能性がある。</p> <p>総括</p>							
見直し方向性	改善	6年度の目標達成率が想定より低調であったが、一部業務を民間事業者に委託するとともに、令和7年度執行時から、これまでのアンケート結果や地域づくり団体や民間事業者とのつながりを活かして、大学生に訴求するイベント内容の企画・周知等を図り、参加学生の増加に繋げるとともに、イベント時に参加学生に対し愛workの魅力伝える機会を設けるなど、利用登録へ繋げる仕組みを改善することにより、更なる成果の向上を図る。								

2	当初	事 項	「豊かな中予暮らし」体験・交流事業費						予算主管課	地域政策課
	事業概要	就職活動をスタートする前の中予管内の大学生（1、2年生）に対し、県内企業を知る機会を提供するとともに地域の魅力を体感してもらうことにより、県内就職を促進し、若者の県内定着を図る。						始期	2023	
	K P I	参加者の愛work新規利用登録者数						終期	2025	
	KPI種別	上がるの良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
	実績値	R 4 年 度	目標値	90 人	目標値	180 人	目標値	270 人	目標値	人
	ストック /フロー	人	実績値	36 人	実績値	103 人	実績値	人	実績値	人
	ストック	ストック	達成率	40 %	達成率	57.2 %	達成率	%	達成率	%
	コスト	最終現計 予算額	最終現計 予算額	8,700 千円	最終現計 予算額	3,912 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円
	コスト	決算額	決算額	3,890 千円	決算額	2,961 千円	決算額	千円	決算額	千円
	6 年 度	要因分析	<p>要因 昨年度より多くの学生の参加を得られたものの、就職活動前である1・2回生の割合が昨年度の64%から50%に14ポイント低下したことなどから、KPI未達成となった可能性がある。 また、各イベントの際に愛work登録のための時間を十分に確保できなかったことも影響したと考えられる。</p> <p>総括</p>							
見直し方向性	改善	6年度の目標達成率が想定より低調であったが、一部業務を民間事業者に委託するとともに、令和7年度執行時から、これまでのアンケート結果や地域づくり団体や民間事業者とのつながりを活かして、大学生に訴求するイベント内容の企画・周知等を図り、参加学生の増加に繋げるとともに、イベント時に参加学生に対し愛workの魅力伝える機会を設けるなど、利用登録へ繋げる仕組みを改善することにより、更なる成果の向上を図る。								

3	当初	事項	人口減少対策意識啓発事業費								予算主管課	地域政策課
	事業概要	2060年の県内人口100万人確保に向けて、行政だけでなく、事業者・団体など、総ぐるみで取り組む必要があり、人口減少対策意識啓発強化期間を設けて、啓発事業を展開し、人口減少の負のスパイラルを食い止めるためのメインターゲットとなる若者の意識醸成を図る。								始期	2024	
										終期	2024	
	K P I	人口減少対策には、一人一人の意識や行動が重要であると答える若者の割合										
		KPI補別	上がるの良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
			R 4 年 度	目標値	0 %	目標値	34.9 %	目標値	42.5 %	目標値	50 %	
		実績値	%	実績値	%	実績値	23.9 %	実績値	%	実績値	%	
		ストック/フロー	フロー	達成率	%	達成率	68.5 %	達成率	%	達成率	%	
		コ ス ト		最終報告 予算額	千円	最終報告 予算額	26,312 千円	最終報告 予算額	千円	最終報告 予算額	千円	
			決算額	千円	決算額	24,336 千円	決算額	千円	決算額	千円		
6 年 度	要因分析	<p>要因 本事業では、テレビ・SNSを中心に、広く情報発信を行うことはできたが、短期間で県民一人一人の意識の醸成までには至らなかったものと考えられる。</p> <p>総括 本事業は若者を中心としつつ、若者を取りまく全世代向けの広報が主であり、KPIを達成することはできなかったが、本事業終了時点での人口減少問題に対する興味・関心を持つ県民は82.5%となった。 人口減少対策には、若者へのアプローチが不可欠であるため、R7～は若者特化型人口減少対策意識啓発事業として、若者をターゲットとした情報発信・啓発活動を行っていく。</p>										
	見直し方向性											